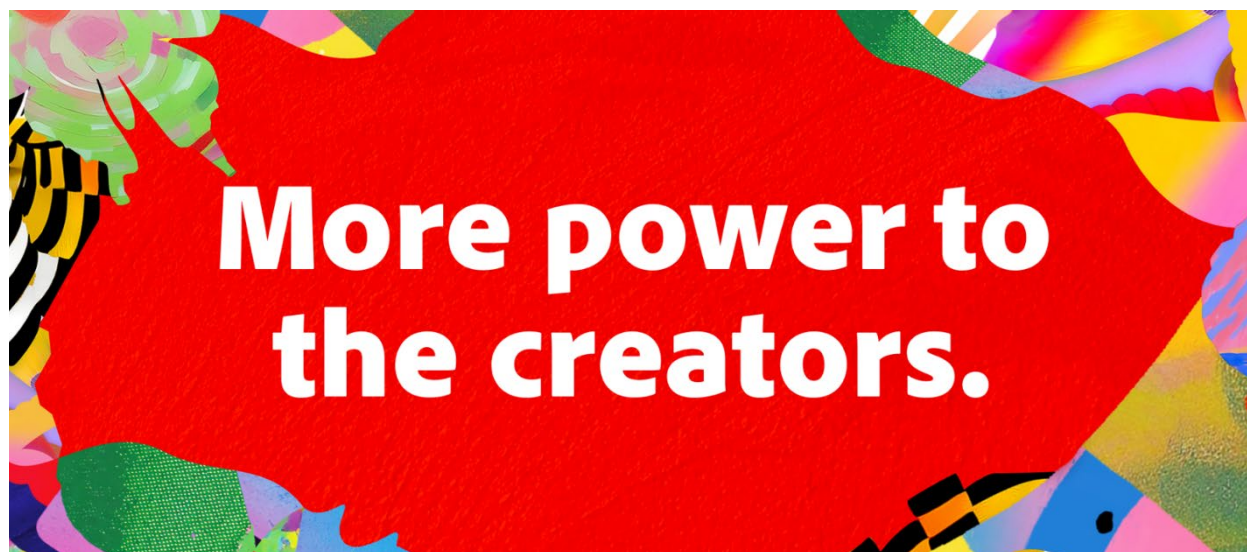


アドビ、Adobe MAX 2024 を開幕

クリエイターやマーケターにさらなるパワーと可能性を提供

- Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe Premiere Pro、Adobe InDesign、Adobe Lightroom、Adobe Express、そして全く新しい Frame.io など Adobe Creative Cloud 製品における 100 以上の新機能・アップデートにより、クリエイティブプロフェッショナルに、これまで以上のスピード、精度、コントロールを提供
- 安全に商用利用できるよう設計されたアドビのクリエイティブな生成 AI モデルのファミリーである Adobe Firefly が、画像、ベクター、デザインに加えて、動画にも対応
- エンドツーエンドのコンテンツサプライチェーンソリューションである Adobe GenStudio の最新エンタープライズ向けアプリケーション「Adobe GenStudio for Performance Marketing」の一般提供を開始



※当資料は、2024 年 10 月 14 日（米国時間）に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳版です。

【2024年10月14日】

アドビ (Nasdaq: ADBE) (本社: 米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は本日、世界最大のクリエイティビティカンファレンスである [Adobe MAX](#) にて、Adobe Creative Cloud の 100 以上の新機能を発表しました。これらは Adobe Firefly を通じてクリエイターに創造、コラボレーション、そしてアイデアを形にするこれまでにないパワーをもたらし、生産性の向上を実現します。また、Adobe Express のアップデートと全く新しい Frame.io により、クリエイティブチームと関係者のコラボレーションを円滑化する新しいワークフローを実現しました。さらに、アドビは、Adobe Firefly Image Model、Adobe Firefly Vector Model、Adobe Firefly Design Model を含む Adobe Firefly 生成 AI モデルのファミリーの既存モデルの画期的な進化と、それらに続く新モデル「Adobe Firefly Video Model (ベータ)」の投入も発表しました。これらはすべて安全に商用利用できるよう設計されています。

企業向けに、Adobe GenStudio の最新アプリケーションである、エンドツーエンドのコンテンツサプライチェーンソリューション「Adobe GenStudio for Performance Marketing」の一般提供を開始します。これにより、マーケティングキャンペーンにおけるコンテンツやパーソナライズされた顧客体験の計画、制作、管理、実施、分析が可能です。

アドビのデジタルメディア事業部門代表であるデイビッド ワドワーニ (David Wadhvani) は、次のように述べています。「クリエイティブなコミュニティにこれまでにないパワー、精度、そしてクリエイティブなコントロールを届けることで、世界を彩るパワフルな絵筆として活用してもらいたいと考えています。そして、クリエイティブなコンテンツの需要が指数関数的に増加することが予想される中、私たちはクリエイターがマーケティングや人事、営業部門を巻き込み横断する形でコンテンツを拡大して活用できるようにします。」

創造力と表現力を強化

- **Adobe Firefly** : Adobe Premiere Pro への統合を通じ、クリエイターがテキストや画像から動画を生成したり、[ビデオクリップの延長](#)やスムーズなトランジションを作成したりできる

Adobe Firefly Video Model（ベータ）を発表し、生成 AI モデルのファミリーを拡張しました。また、これまでの 4 倍も高速に画像を生成できる Adobe Firefly Image 3 Model の最新進化形も発表しました。また、Adobe Vector Model の最新のイノベーションによって、Adobe Illustrator を使用するデザイナーに、より高度なコントロールが与えられます。エンタープライズ顧客向けの Adobe Firefly Services と Adobe Firefly Custom Model の機能強化は、Deloitte、Gatorade、IBM、IPG Health、Mattel などの世界的な大手ブランドによって活用され、さまざまなマーケティング用コンテンツ制作のスピードアップと規模拡大に役立てられています。安全に商用利用できるよう設計された Adobe Firefly は、現在までに 130 億枚以上の画像の生成に使用されています。

- **Adobe Photoshop**：アドビは、クリエイティブコミュニティにさらなるパワー、スピード、コントロールを提供し、彼らのビジョンが実現できるようサポートする新機能を複数発表しました。例えば、画像から人物、電線、電柱などの邪魔なものを削除する新しいスマートテクノロジー「**不要な物を検出**」、デザイナーがアイデア出しをしたり、ブレインストーミングしたり、コンセプトを何度も考え直したりできる「**生成ワークスペース（ベータ）**」、Adobe Photoshop で 2D デザインを扱う際に、グラフィックデザイナーが 3D オブジェクトを閲覧・編集できる新機能「Substance 3D Viewer」のベータ版のほか、**Adobe Firefly Image 3 Model** を搭載した**生成塗りつぶし**、**生成拡張**、**類似を生成**、**背景を生成**などの機能の正式リリースが発表されました。
- **Adobe Illustrator**：「**パス上オブジェクト**」は、アートボード上の任意のパスに沿ってオブジェクトを素早く吸着、整列、移動できる機能です。他にも画像のベクターアートへの変換をより簡単かつ迅速に行える、**強化された「画像トレース**」などの新しい機能を発表しました。さらに、Adobe Firefly Vector Model を搭載した**生成塗りつぶし（シェイプ）**は、デザイナーがユニークな出材に詳細なベクターを素早く追加できることで時間を短縮することができます。また、昨年 Adobe MAX で初めてプレビューされた web アプリ「[Adobe Project Neo](#)」のベータ版も発表しました。このアプリはコミュニティから非常に高い評価を得ており、デザイナーがシームレスに 3D デザインを作成、編集するのに役立ちます。

コンテンツ制作の規模拡大を支援

- **Frame.io**：業界をリードするアドビのビデオポストプロダクション機能をさらに補強し、オーディオ、写真、デザイン、その他のクリエイティブワークフローのコラボレーションをサポートする、Frame.io のまったく新しいバージョンの正式リリースを発表しました。新バージョンでは、撮影セットから必要な人々へとメディアを届ける最も迅速で簡単かつ安全な方法である、Frame.io 独自の Camera to Cloud エコシステムに、新たにキヤノン、ニコン、ライカが加わりました。
- **Adobe Express**：コンテンツ制作を加速し、[人々のクリエイティブの可能性を広げる、AI を搭載した新しい機能](#)を発表しました。これにより、企業では組織内のメンバーがブランドキットのアセットに迅速にアクセスできるようになり、コンテンツの一貫性を保つことができます。Adobe MAX では、クリエイティブチームが Adobe Photoshop や Adobe Illustrator など Adobe Express と連携して作成したコンテンツをシームレスに社内展開し、マーケティング、営業、人事、コミュニケーション、その他のチームが Adobe Express を使ってそれらを最大限に活用する方法が実演されました。
- **Adobe GenStudio**：Adobe GenStudio の最新エンタープライズアプリケーションである「**Adobe GenStudio for Performance Marketing**」の提供開始を発表しました。アドビのエンドツーエンドのコンテンツサプライチェーンソリューションである Adobe GenStudio は、パーソナライズされたコンテンツの需要が高まる中、Adobe Creative Cloud と Adobe Experience Cloud を統合し、企業のコンテンツサプライチェーンの最適化を可能にします。Adobe GenStudio for Performance Marketing は、セルフサービス型の生成 AI ファーストアプリケーションであり、クリエイティブ部門が作成したコンテンツを最大限に活用し、ソーシャルメディア広告、メールマーケティング、ディスプレイ広告の最適なミックスの決定を、データ主導のインサイトを活用して迅速に支援します。これにより、ブランドの基本的なルック&フィールを定義するクリエイティブ部門と、ソーシャルメディアやモバイルなどの要求の厳しいチャネル向けに大規模なコンテンツのバリエーションを提供する必要があるマーケティング部門を結びつけます。Google の Campaign Manager 360、Meta、Microsoft

Advertising、Snap、TikTok との提携拡大により、企業はプラットフォーム間でキャンペーンを即座に有効化し、直接的なパフォーマンスインサイトを通じてタイムリーな調整を行うことができます。

クリエイティブな探究とアイデア創出を支援

クリエイターが AI の力を自身の想像力と組み合わせ、コンセプトやアイデアを探究し、アイデア創出を行う新しい方法もいくつか披露されました。その一つが、クリエイティブプロフェッショナルが、複数人でコラボレーションでき、クリエイティブな開発を可能とする [Adobe Project Concept](#) です。この機能には、1つのキャンバス上でライブでコンセプトを練ることができ、リアルタイムでの画像リミックス機能が備わっています。さらに、Adobe Photoshop の「生成ワークスペース（ベータ）」は、デザイナーがアイデアを練ったり、ブレインストーミングを行ったり、コンセプトを反復改善したりすることを可能にします。これにより、クリエイターはビジョンを実現し、これまで以上に直感的に、より速く素晴らしいビジュアルを制作することができます。

次世代のクリエイターたちに力を

新製品や新機能の紹介に加え、アドビは、次世代の学習者および教師約 3000 万人が Adobe Express を活用し、AI リテラシーやコンテンツ制作、デジタルマーケティングのスキルを身に付けられることを目的とした新しい世界的なイニシアチブを発表しました。アドビは、「[Adobe Digital Academy](#)」を拡大し、教育系パートナーや非営利団体と協力して、証明書の取得やより良いキャリアパスのためのトレーニングを提供します。アドビは今年寄付や奨学金、製品へのアクセスを通じて1億米ドル以上の支援をしており、また、パートナーシップを通じて世界中の個人や団体が自らのストーリーを伝えられるよう、すべての人につくる力を届けます。

アドビと Adobe Foundation、Adobe MAX で地域コミュニティ支援に 100 万ドルを拠出

ハリケーン・ヘレネとミルトンの影響を受けたフロリダの人々の復興のために、Adobe Foundation はアメリカ赤十字と World Central Kitchen に寄付を行いました。アドビは、Adobe MAX の参加者、スポンサー、従業員からの寄付金に同額を上乗せし、これらの地域の復興を支援しています。また、Adobe Foundation は [The Miami Foundation](#) にも寄付を行いました。これは、マイアミの活

気あるクリエイティブコミュニティを発展させ、同地域の過小評価グループとなっているクリエイティブコミュニティを支援するためのものです。

Forward-Looking Statements

This press release contains “forward-looking statements”, including those related to Adobe’s new, enhanced or future product capabilities, innovations and offerings and the expected benefits to Adobe, all of which involve risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially and adversely from these forward-looking statements. Factors that might cause or contribute to such differences include, but are not limited to: failure to innovate effectively and meet customer needs; issues relating to development and use of AI; failure to realize the anticipated benefits of investments or acquisitions; failure to compete effectively; damage to our reputation or brands; service interruptions or failures in information technology systems by us or third parties; security incidents; security incidents; failure to effectively develop, manage and maintain critical third-party business relationships; risks associated with being a multinational corporation and adverse macroeconomic conditions; failure to recruit and retain key personnel; complex sales cycles; changes in, and compliance with, global laws and regulations, including those related to information security and privacy; failure to protect our intellectual property; litigation, regulatory inquiries and intellectual property infringement claims; changes in tax regulations; complex government procurement processes; risks related to fluctuations in or the timing of revenue recognition from our subscription offerings; fluctuations in foreign currency exchange rates; impairment charges; our existing and future debt obligations; catastrophic events; and fluctuations in our stock price. For a discussion of these and other risks and uncertainties, please refer to Adobe’s most recently filed Annual Report on Form 10-K and Adobe’s most recently filed Quarterly Reports on Form 10-Q. Adobe undertakes no obligation, and does not intend, to update the forward-looking statements, except as required by law.

■ 「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2024 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.